

# 令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

関目	小学校	児童数	486
----	-----	-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	15.05	19.85	40.95	42.43	49.88	9.60	136.13	20.93	53.25
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	15.19	20.00	46.72	41.88	44.19	9.45	140.09	13.63	58.75
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

### 結果の概要

男女共に握力、立ち幅跳びが全国・大阪市より低く、男子は50メートル走も全校・大阪市より低かった。しかし、その他は体力合計点も含め、全国・大阪市より高く体力・運動能力の向上が見られる。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」については、男子は肯定的な回答が92.5%と全国(91.0%)・大阪市(89.8%)より高いが、女子は78.2%と全国(83.7%)・大阪市(79.2%)と低く、女子の運動に対する興味・関心を高める必要がある。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が5.0%で全国(8.8%)・大阪市(13.2%)より低い。女子は15.7%と大阪市(21.5%)よりは低く、全国(14.5%)よりは高かった。こちらも本校においては、女子に比べて男子の方が運動に関する意欲の高さが見られる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育の授業において、個人やチームの課題解決を図るために話し合いを取り入れ、友達との交流を深めながら運動能力を高めていくことをねらいとして取り組んだ。また、体力向上に向けて、「なわとびび月間」の実施、がんばりカードの活用、ジャンピングボードの活用等の結果、体力づくりと運動に親しみ、進んで運動に取り組もうとする児童が増えた。しかし、一方で、運動が苦手な児童や、運動そのものに興味・関心の無い児童も少なくなく、運動技能はもとより、運動に対する意識や運動習慣において課題のある児童もいる。今後は、さらに運動を行う場の工夫を図りながら運動環境の整備に努め、日々の生活の中で運動ができるようにする。また、例年行っている「かけ足強調月間」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため全校児童での取組は中止とし、各クラスで取り組んだ。他の運動も感染対策を講じながら出来るかぎり取り組んでいきたい。